

VI 学生部会機関誌『世代』総目録（第一号～第四十号）

『世代』創刊号（一九六一年一月発行）

〈卒論〉

日本の近代化とその特殊性
カミューの異邦人について
日本近代化の悲劇

〈随想〉

この瞬間に生きがいを感じ
劣等感について
死

〈論文〉

近代化における疎外と教育
キリスト者と社会運動
黒いオルフェの雰囲気
コンゴ問題

〈創作〉

業につつまれた友情

〈報告〉

学生部会昭和三十五年度活動報告
第七回日本学生ゼミナール参加報告

〈寄稿〉

西洋および日本の反逆と背徳

『世代』第二号（一九六一年十二月発行）

中国近代史における孫文の役割

胡適

魯迅

日本の仏教

愛国心

農業基本法についての諸問題

ユマニストとしてのフランソワ・ラブレ

高村光太郎について

幽雨

虚数の中で

大島渚論

十二夜について

現代青年と理想

私の宗教観

今からでも遅くない

〈座談会〉

学生運動について

信太正三

志賀剛

石川節生

武林昌秀

金子良治

吉岡光義

中村邦男

中谷光隆

安川周作

佐々木正和

小山隆久

渡辺尚

山田浩志

萩原成美

平沢久

街道重昭

人文系ゼミナリスト

平能基男

山内兼敬

谷守

進博

吉沢五郎

北村俊夫

吉岡光義

江頭輝雄

福島陸夫

橋本芳紀

藤田敬藏

板橋一郎

〈報告〉

学生実態報告
学生部会昭和三十六年度活動報告

山本ゼミナール

『世代』第三号（一九六二年十二月発行）

世代―戦後の世代別の思想と行動
大正デモクラシーの性格
日本ファシズムの源流

―北一輝の思想を中心として―

日本ファシズムの進展過程と特質
農民一揆にみる反封建性の限界
日本インテリゲンチヤーと為政者への

疑問―国家主義と我々の立場

現代と統一戦線
教育と社会体制
矢内原事件
人間の自己疎外

現代日本資本主義における中間層の状況
―疎外意識を中心として―

レジャー分析
詩―枯葉
躰けと教育
日本美の再発見

坂田 邦夫
吉岡 光義

藤本 雅生
小田 薫
笹口 英紀

渡部 尚
岸本 光造
新家 克美
山本 道雄
桜井 征行

杉下道吉・鎌田靖雄
石原 実
渋谷 彰彦
行船 純忠
青山 弘一

抽象芸術の視点

音楽について
我々の宗教観
UFOについて

〈報告〉

学生実態調査報告
人文系活動報告
昭和三十七年度学生部会活動報告

〈寄稿〉

英語劇沿革について
英語劇について、その起源と沿革

『世代』第四号（一九六三年十二月発行）

〈巻頭言〉

〈卒論〉

大正デモクラシーの考察
サルトルの実存主義と自由観
五島における隠れ切支丹

〈論文〉

文明開化―その国内政策と国外政策―
明六社の人々
自由民権運動
徳富蘇峰の平民主義

宮島 光紀
渋谷 彰彦
石原 忠
小笠原 喬

山本ゼミナール

須藤 兼吉
向井 俊二

加藤 三朗

吉岡 光義
森 忠弘
中村 喜勇

小西孝俊・堀越 格
石原 実
吉田 洋
小林 愛子

〈論争〉

坂本氏に答える―本学学生新聞

(五、六月号) 掲載の批判に答える―

農村人口の変動

戦後日本の社会道徳の喪失

現代における虚無感

戦後の労働運動の質的变化

自由民権運動―豪農の性格と運動終息

への経過―

自由の解釈

自由の解釈に寄せて

芸術と民族

言語と文化的国民性

桜井正行氏の「政治と文学について」を批評する―本学新聞九月二十日付に対する批判―

片桐敏郎

〈詩〉

一瞬の青空

美代子

心

〈報告〉

学生実態調査報告

人文ゼミ活動報告

昭和三十八年度学生部会活動報告

笹口英紀 石川孝男 坂田邦夫 前田誠 藤原歳久 今井秀彦 後藤文彦 大鶴光彦 福田豊 大浜進 西川敦治 西川敦治 岩崎誠治 山本ゼミナール 人文ゼミ 人文学学生部会

編集後記

『世代』第五号 (一九六四年十二月発行)

〈巻頭言〉

〈卒論〉

黎明期の社会主義思想

実存主義に於けるドストエフスキーの

世界観―その一側面―

〈研究〉

学力テスト問題とその周辺

占領政策と労働運動

現代の課題―福祉国家の考察―

〈随筆〉

現代における個人と歴史

自然への誘い

〈詩〉

陽炎

青春

〈論文〉

自己存在の探求

ヒューマニズムとニヒリズム

〈書評〉

W・Bウルフ著『どうしたら幸福に

斉木寿国 坂田邦夫 松下道吉 松野俊一 大曲肇 相原俊雄 大森邦彰 梅沢英紀 高橋頌弘 喜多哲義 田口孝吉 橋本千尋 奥田昌孝

『されどわれらが日々』

なれるか』

平賀 巳代治

白痴―真に美しい人間
〈研 究〉

岩切 寿恵子

―にみる柴田翔の思想性

本田 唯史

日本ファシズム

市川 裕

大仏次郎作『帰郷』を読んで

山下 喬雄

日本浪漫派の思想

毛藤 罔彦

『風と共に去りぬ』について

青葉 仁

日本的キリスト教を探る

斎藤 三恵子

〈研 究〉

F・カフカ『城』を主題とする

遊佐 英一

幸福について

山口 康夫

実存主義に於ける人間性の研究

近藤 義正

音声学に於ける音声言語の重要性

橋本 千尋

東南アジア問題

斎藤 憲之

大衆文化状況なるもの

青木 殉子

マルクス主義の『国家学説』について

飯田 勝子

アジア開発と先進国の役割

梅沢 英紀

アメリカの黒人たち

飯田 勝子

〈随 想〉

〈報 告〉

第五回学生実態調査報告

山本ゼミナール

哲学的時代考察

三木 拓三

昭和三十九年度人文系ゼミナール活動報告

人文系ゼミ

〈創 作〉

芦路 洋平

昭和三十九年度人文学生会活動報告

人文学生会部会

かわやの哲学

津村 昌保

編集後記

宮崎 勇造

〈読 書〉

青葉 仁

デュ・ガール著『チボー家の人々』に思う

『世代』第八号（一九六五年十二月発行）

〈詩〉

青葉 仁

〈巻頭言〉

並木 卓造

あざみ花

浅田 勁

〈卒 論〉

加藤 三朗

孤独

田中 学

現代日本のナショナリズム

加藤 三朗

〈体験記〉

安部 克孝

戦後建築伝統論争について

内海 征二

苦闘の旅路―九州一周自転車旅行―

安部 克孝

鶴見区における産業構造

安部 満郎

〈報 告〉

第六回学生実態調査報告

昭和四十年度人文系ゼミナール活動報告

昭和四十年度人文系学生会学生部会活動報告

編集後記

山本新ゼミナール

人文系各ゼミ

人文系学生会学生部会

毛 藤 岡 彦

眩暈

挽歌

〈座談会〉

『戦後世代の精神構造』

—われらの世代とは何か—

奈良 隆
大城 鎮 基

『世代』第七号（一九六七年一月発行）

〈巻頭言〉

〈卒 論〉

占領にみるアメリカ政策の本質

ウィリアム・シェイクスピア作

『十二夜』について

ドストエフスキーに於ける実存主義の研究

〈研 究〉

ルードウィッヒ・フォイエール

バツハ思想の焦点

毛沢東と中国革命

一般意味論というもの

森鷗外の歴史的的位置

有島武郎の文学史的的位置

毛沢東と魯迅

中国近代革命史

〈詩〉

喜望峰 (Cape of Good Hope)

仁 木 内 匠

横 山 定 男

井 田 勝 興

長 尾 典 子

市 川 裕

袴 田 泰 子

蒲 地 雅 美

鈴 木 忠 昭

北 川 健 三

山 崎 健 一

萩 上 寿 久 雄

田 口 孝 吉

『世代』第八号（一九六八年一月発行）

〈巻頭言〉

〈卒 論〉

理想と国家主義

明治の理論思想

R・M・リルケ論

〈研 究〉

有島武郎における背教

ペスタロッチにおける教育思想

マックス・ウェーバーの『職業としての

学問』批判への批判

〈随 想〉

第七回学生実態調査報告

昭和四十一年度人文系ゼミナール活動報告

昭和四十一年度人文系学生会学生部会活動報告

編集後記

山本新ゼミナール

人文系各ゼミナール

人文系学生会学生部会

池 川 劭

松 岡 和 雄

青 葉 仁

吉 田 直

長 坂 紘

荒 木 信 良

佐 野 光 璋

軍 司 克 巳

はしら
旅について

〈詩〉

十月

汽車を待つ

虚栄ということ

〈研究〉

日本文化試論

中国文字改革に関する考察

社会主義への移行の問題

〈紹介〉

とつかん・叫び

〈報告〉

第八回学生実態調査

人文系ゼミ活動報告

昭和四十二年度学生部会活動報告

編集後記

『世代』第九号（一九六九年一月発行）

〈巻頭言〉

〈卒論〉

夏目漱石の苦悩と自己救済

―自我の問題と自己救済としての自然―

花田 隆夫
入江 不二

小林 土百

宮下 幸一

五十嵐 郁雄

森本 正一

花田 隆夫

山崎 泰弘

II部学生機関誌

山本ゼミナール

人文系ゼミ

人文系学生会部会

宮下 幸一

編集部

小崎 哲夫

近世儒教思想史にみる近代への胎動

―その日中比較論

サルトル哲学への序章（二）

〈詩〉

《告知》

〈研究〉

三島由紀夫と横光利一

西田哲学の性格・その一

―無の論理構造について―

オルテガにおける私と私の環境

―オルテガ哲学をめぐる一試論―

マルクス主義と主体性―人間論―

《没意味化》的世界とマックス・ウェ

ーバー―我々の時代の要求―

〈大学自治論〉

教育の帝国主義的改編に抗して

大学共同の幻想を打破れ！

教育情勢分析 大学革新闘争に向けて

大学の民主的改革を勝ちとり全学協議会を

中心に大学を反独占闘争の砦としよう！

〈紹介〉

人文系学生会II部学生会発会に際して

〈報告〉

野村 剛

三木 拓三

岡田 正則

鈴木 公典

鈴木 勝博

山田 行雄

山崎 泰弘

棚村 正昭

山口 晃

後藤 丞希

平川 英二

川添 堅一

第九回学生実態調査報告

昭和四十三年度人文系ゼミナール活動報告

昭和四十三年度人文系学生会活動報告

編集後記

山本ゼミナール

人文系各ゼミナール

人文系学生会部会

編集部

『世代』第十二号（一九七三年五月発行）

〈評論〉

近代知識人の思想形成の位相

――啄木と漱石――

砂漠からの回帰――中島敦と安部公房――

〈詩・短歌〉

やさしさの果てに朝

お前の手を見る

旅夜

〈論 文〉

隠岐騒動序論

近代における日本と朝鮮

現代都市社会論序説（その二）

――現代都市と人間問題――

人文系学生会部会・昭和四十七年度活動報告

『世代』第十一号（一九七四年六月発行）

現代社会論――現代社会と人間の関係――

ヘーゲルの市民社会における特殊性と

普遍性について

〈詩・創作〉

船酔い

冬の夢想

亀井秀俊

斉藤行広

松浦のぼる

岡田正則

佐藤哲夫

吉木隆

自主講座「朝鮮論」

野口喜久夫

編集部

野口喜久夫

向井智子

飯久保修

橋本昌也

『世代』第十号（一九七一年六月発行）

〈論 文〉

『こころ』の近代的位置

思想の此方へ

この問いに誰れが答えるか

言語表現論序説

〈随 想〉

燃える砂の一節

雷と空つ風

〈詩〉

変幻の荊棘

幻と伝説

図鑑Ⅲ

紫の花嫁

〈書 評〉

思想としての仏典

道元集

編集後記

萩野良一

岡名輝夫

西村正志

柴田隆行

みづき明

吉永宣子

小谷哲

岡田正則

吉永宣子

松浦のぼる

鈴木恒仁

井沢正勝

編集部

陥穽

都市の自殺―その生活構造的把握の試み―

〈寄稿〉

西欧ルネサンス期における文学に

あらわれたRatioその抬頭と動揺

人文学会学生会部会

昭和四十八年度活動報告

神奈川大学人文学会学生会部会会則

『世代』第十三号（一九七五年九月発行）

〈巻頭言〉

近代日本思想史におけるアジア主義と

朝鮮―その比較文明論的考察―

若きヘーゲルへの一考察

わたしは血の中に眠る

予感

II 無重力瞑想

夏休みに

小説 失れゆくもの

オブジェ

関係文法とその問題点

昭和四十九年度 人文学会学生会部会活動報告

昭和四十九年度 人文学会学生会部会会計報告

神奈川大学人文学会 学生会部会会則

『世代』第十四号（一九七七年八月発行）

〈研究・論文〉

プロローグ

Elizabeth Jennings Song at the Beginning of

Autumn―その小鑑賞（秋のはじめの詩）

Performance Objectives and Taxonomy of

Second Language Learning

企業の住宅政策の変遷

〈京浜七工場の調査より〉

（究明）10号より転載）

被爆朝鮮人（獣）90号より転載）

〈創作〉

衝動

人間宣言

〈イン・ゼミ大会より〉

日本文化論

甘え

言語からの一考察

ドレフュス事件の意義

『ボリディーク』と『ミスディーク』

現代歴史学

蔵元博文
相沢孝昭

佐々木茂美

編集部

片野三男吉

和田敏光

向井智子

山本智進

松本剛二

岩口義紀

中川真平

今里隆史

飯久保修

三上 司

黒部英治

岩元秀人

小林秀樹

関根茂治

生田治

柴田松弥

武田紀子・山本二三
入月淳子・鈴木智

阿部増太郎
小島正

エピローグ

人文学会学生部会・昭和五十年活動報告 編集部
 人文学会学生部会・昭和五十年度会計報告 会 計
 編集後記・スペシャルサンクス
 人文学会学生部会会則

『世代』第十五号（一九七八年三月発行）

安藤昌益における『気』の思想の土着化 武田 紀子
 ニーチェにおけるキリスト教批判の省察 笠 松 美 秀
 民族とことば——漢字文化圏への視点—— 鈴木 智
 共通語と鶴岡方言の時制表現に関する一考察 五十嵐 栄一
 蛇の道 鈴木 道夫
 新・舌切り雀 高 井 英 雄
 詩 高 橋 秀 樹

〈講演 インナーゼミ大会より〉

近藤芳美氏『現代短歌について』 編 集 部
 子どもは未来からの使者 池 田 勇 人
 一般意味論——理論と実証—— 伊 藤 ゼ ミ I
 儒法闘争史観 山 本 ゼ ミ I
 欧化と国粹——明治以降の悪循環—— 山 本 ゼ ミ II

〈紹介〉
 自主講座朝鮮論 金 賀 一
 〈ゼミ便り〉

大友ゼミナール
 マクベス——聴く劇であること——
 林 正 太
 加 藤 美 智 子

『世代』第十六号（一九七九年三月発行）

〈女性のあり方について（インナーゼミナール大会）〉
 女性の社会的あり方について
 —その歴史的展望— 木 村 優 子

女性はつくられる
 —日本の女子教育の歩みについて— 吉 田 雅 恵
 現在の女性の主体性とそのあり方について 西 沢 真 喜 子
 ベトナム戦争と日越貿易 佐 々 木 喜 介

日米農産物交渉——一九七七年一月—
 一九七八年一月— 山 下 志 朗

リアの死について——自己認識の過程から—— 中 島 好 美
 『悪』の魅力——エドマンドをめぐる—— 宮 下 真 留 美
 マザー・グースの唄 中 村 洋 一
 サドの思想と反社会性（図書館投稿より） 高 橋 力
 ことばの源を探る学問 高 野 正 史

『日本の芸術思想』 山本ゼミナール
 二十五周年『アジアの抵抗』出版記念 講 演 会
 草 薙 正 夫

七十八年度人文学会学生部会活動報告
 英語科における授業の進め方

— 中学校の場合 —
 Doctor Faustus : The Aspects of Humanity
 岡田明英

『世代』第十七号（一九八〇年三月発行）

太陽と影と — 『リチャード三世』における
 対照のイメージ

オセロの愛と嫉妬

イアーゴの最後の沈黙

アメリカ人と秘密結社

チエーホフは山口百恵である

近代ブルジョア社会の形成理念

私は訴える

特別講演会 — 同時代の感想より —

第十一回学内学生意識調査報告

七十九年度人文学会学生会活動報告

『借入語と本来語』

— 中学校基本単語における多自詞の割合 —
 テスト作成と使用について

『世代』第十八号（一九八一年三月発行）

アンドレ・ブルトンの『ナジャ』におけ

る自己との出逢いについて

戦後教育史への視点

荒井勝	神谷通子	藤田陽子	中鉢恵一	柳原真市	樋口浩次	西川宏	五木寛之	山本新ゼミナール	内堀守	岡田千佐子	伊藤真理	西田光也
-----	------	------	------	------	------	-----	------	----------	-----	-------	------	------

資料分析法による授業内容の構成
 現代社会における異常の概念
 鈴木保宏

— 子どもの異常性をめぐって —
 W・S・モームのための小さな小さな論文
 五十嵐純一

下総国にみる国学浸透と平田神道
 古田毅

— とくに宮負定雄を中心として —
 手話と言語学
 須加野敏秋

無題 — 寒くなりはじめた冬に —
 退場の弁 《座談会》 — 同世代の弁明 —
 吉田文彰

女性の自立と教育
 《学生会主催講演会より》
 村田泰彦

昭和五十五年度人文学会学生会活動報告
 『復讐』に対するハムレットの姿勢
 編集部

我ががハムレットの決断
 接辞・語根とその語形成に関する考察
 渡辺幸夫

我らがハムレットの決断
 加藤昭夫

『世代』第十九号（一九八二年三月発行）
 シオドアアレトキ — 自然との自己同一化 —
 根本靖志

現代人の狂気についての一考察
 『タクシードライバー』を中心として
 安原敏洋

金印 《漢委奴国王印》
 — 亀井南冥の業績を中心として —
 石沢真一

現代国家のアポリア

— 欧州反核運動の底に流れるもの
キャッシュレス時代の担い手

森利口 泰一

— 生活に浸透するクレジットカード —

大森 雅子

『教科書問題』を考える

柴田 正美

プログラム学習における強化とフィードバック

前田 修

窓辺の孤独

乗田 理路

愛しのエリダ(パロディ)

山本 柚理

鼎談 言葉はどこまで生き残れるか

本田順子・谷内紀夫

奈須野敏秋

私と日本文学(キム・チョン・レーホ氏

秋期特別講演会より)

昭和五十六年度人文系学生会活動報告

"Ought to do" in Macbeth

否定接頭辞に関する考察

不毛の笏—マクベス夫婦の心理葛藤

『世代』第二十号(一九八二年十二月発行)

〈巻頭言〉

アメリカ黒人とアフリカ

ウイリアム・スタイロン『ナット・

ターナーの告白』試論

暗喩『雨の木』のしくみ

盲目による『リア王』の悲劇

— 人間が、平常で見えぬもの —
悲劇のシーソーゲーム

日比野 剛

— 裏切られた父親たち —

『北方領土』について

『絵』とはどんなものだろうか?

くもと月(童話)

ルイ・マル『鬼火』をめぐる

私の読書論

フシギ的、通話時情緒不安定の男

あなたも煙草が止められる

グッドラックとは言わないけれど

女湯雑感

〈編集部企画〉

誌上座談会『学生会とは何か』

〈報告〉

昭和五十七年度人文系学生会活動報告

予測文法能力と英語テスト

編集後記

『世代』第二十一号(一九八四年三月発行)

〈巻頭言〉

対日戦後政策と世論

— 民主化と天皇制を中心に —

林 千秋

濱崎 真人

浅見 康久

安田 淳

五十嵐 祥一

押田 △ 伸

室生 敏光

江部 佳隆

浅尾 博之

富沢 由香利

編集部

人文系学生会

藤塚 敬一

五十嵐 祥一

松井 孝夫

阿部 浩一

イラン革命と、周辺に与えた影響

マイコンの教育的利用

あるセールスマンにおける悲劇

二つの価値観―公人と私人

羊のテロル

単独者―その健全性と問題解決のための考察―

『ドン・キホーテ』における狂気の中の

真の人間性

『組織』と『刺激的』個人

〈報 告〉

合同公開インナーゼミナール

昭和五十八年度人文学会学生部会活動報告

A Study of Death of a Salesman

— Willy's self-recognition and its effect

編集後記

『世代』第二十二号（一九八五年三月発行）

〈巻頭言〉

オセローの愛の魔法

ガルシア・ロルカ作『血の婚礼』に

おける『死』のイメージ

自分の本当の姿とこうあるべき姿

—『セールスマンの死』のヴァイリー—

川村 信之

坂井 孝

清水 美樹

守屋 昌彦

阿部 和宏

松井 孝夫

沼田 美奈子

小松 久男

人文学会学生部会

人文学会学生部会

Masahiro Takeda

小松 久男

小田桐 立人

横山 美由紀

藤井 章

佐藤 真二

『世代』第二十三号（一九八七年三月発行）

〈巻頭言〉

自由の功罪

Von Voyage

ギリシア悲劇の誕生―神話と音楽―

狂気『ダーク・サイド・オブ・ザ・ムーン』

演歌における日本人の心情

ウイリーの生き方―管理社会の中で

ひとりの人間としての存在を求めて

オーディオ・マニアのひとり言

生老病死

主題

ウイリーと息子たちとの親子関係と悲劇

リンダの愛、ビフの愛

小泉八雲との出会い―比較文化と小泉八雲―

日本人の宗教観について

ことばと国民―家庭教育を通して―

旅とロマン

自殺という病気

〈報 告〉

昭和五十九年度人文学会学生部会活動報告

編集後記

人文学会学生部会

藤井 章

弘中 努

鈴木 昌英

井態 英俊

柴田 健次

橋本 達也

小林 幸宏

久保田 由香

清水 徹

白石 裕二

小林 義寛

Ethnomethodological Essay

— doing a break in an "Universe" —

バカボンのパパがバカになった理由

昭和六十年代人文学会 学生部会活動報告

人文系ゼミナール誌紹介

編集後記及び受賞作品発表

神奈川大学人文学会 学生部会会則

『世代』第二十八号（一九八九年四月発行）

特集「人文学会学生部の活動」

具体的都市社会運動分析のための前提的考察

早期英語教育を考える

「障害」の構造

人文学会学生部会

関 礼子

成川 賢一

石垣 信赴巳

『世代』第二十七号（一九九〇年三月発行）

うらしまとカメの関係について

スペインの空

英国紅茶の歴史について

『わが秘められた生涯』を読んで

（人文学会論文）

信仰と社会

・現代日本の祖先崇拜

・仏教と神道の歴史的変遷

・日本における政教分離

食文化について

試訳 ペルー法制史に関する文献案内

教授法の最適化

なぜ、今 シェークスピアを読むのか

南北朝鮮と平和

（題なし）

無題

土肥 理香

渡会 富絵

梅沢 有子

佐藤 るみ子

ボチャラリゼミ

原田 令

古市 淳史

北沢 賢一

田中 亜弥

金城 尚樹

高田 和幸

山本 百合子

福井 盛太郎

佐々木 直樹

高野 ゼミ

『世代』第二十四号（一九八七年六月発行）

CAIシステムの今日的課題

テレビは本当に活用されているか

日英家族史

装軌車両分離による地球軍縮は可能だ

サム・シェパードの作品のあらわれ方

演歌における日本人の心情

『世代』第二十五号（一九八八年六月発行）

『韓国』動乱における民衆動員の過程

エンドマンの悪を操るもの

闇にとりつかれた人々

「死生観」——人はなぜ生きるのか——

「消費」をめぐる考察

小林 義寛

食欲 魔人

人文学会学生部会

人文学会学生部会

弘中 努

人文学会学生部会

古山 展也

田川 雅之

山下 裕之

斉藤 浩

高橋 香里

小林 幸宏

関 礼子

渡辺 道夫

藤森 功

田村 信昭

宮幡 誠

アストン語学研修の思い出
ヘッセと『青春は美わし』について
(題なし)

私が見たカナダ

よりよい人間関係を求めて

ニューヨークに宛てた五つの手紙

小説が面白ということ

『文学と生活』私心

INTELLECTUEL DE SARTRE, A

FOUCAULT

キヤプテン・フックの憂鬱

岩戸寺の修正鬼会

中国人

『世代』第二十八号(一九九二年三月発行)

〈会長のことば〉

人文学会学生部会の活動

INTRODUCTION

ロバートフロスト—その「人気」と

彼の詩にみる「森」の考察

SANTIAGO: A TYPICAL

HEMINGWAY HERO

「個別化」の新展開

小林 優子	染谷 昌広	川村 彰	岡本 宙子	後藤 康子	穴戸 良子	岩宮 珠樹	早坂 嘉信	高橋 一徳	中北 厚	猿渡 土貴	今村 朗子	深川 佳子	伊藤ゼミナール	村上 美樹	岩宮 珠樹	中西 則之
-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	---------	-------	-------	-------

CONによる教授システム

「女たちが変えるアメリカ」に観る離婚

最近気になった言葉

心弱き者、そなたの名は女

歌謡曲から見た日本人分析

コンピュータ通信で何が出来るか?

私のゼミ論日記

『CONCERT WARE + to (コン)』

コンピュータ ミュージック

1、Logo

大学における情報処理教育

『第5世代コンピュータ』

『コンピュータ犯罪についてその1』

日本人の欧米至上主義

研究発表

・英語入門 読む・書く・聞く・話すを読んで

・ゼミ1—わたしの外国語学習法—

・「古代への情熱」を読んで

編集後記

『世代』第二十九号(一九九二年三月発行)

〈会長のことば〉

人文学会学生部会の活動

奥脇 朋孝	志村 真由美	山下 妙子	山本 百合子	正田ゼミナール I	梅沢 修司	加藤 利佳	奥田 将人	片桐 直子	近藤 一起	清水 利枝子	矢島多恵・小山守生	山本 龍雄	森 敦	水野ゼミナール	浅原 理子	永井 久美子	中村 涼子	原田 千栄美
-------	--------	-------	--------	-----------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	-----------	-------	-----	---------	-------	--------	-------	--------

東京語（グループ研究）

ハイパー俳句の開発とその学習効果

日独の歴史教育（教科書の責任の重さ）

農耕民族と狩猟民族（手の日本人・足の西欧人）

初めて「文学」に取り組むの巻

武術と宗教

英語授業の視聴覚メディア利用

目を見はらせる授業とは

フェアストーリーズ・アズ・デイス

プレイストウ・マイス

何故彼らは人を殺したか

ゼミ活動を振り返って

十大学合同セミナーについて

ゼミの紹介

編集後記

神奈川大学文学会学生会会則

『世代』第三十号（一九九三年四月発行）

〈巻頭言〉

昔話における「なまけ者」の位置づけ

ゼミ研究

ペイント系CGソフト利用の教育

英語学習に王道はないか

伊藤ゼミナール

保崎ゼミナール

大和田 カシ子

小林 洋

杉垣 圭子

室谷 嘉一

深川 佳子

畠山 美香

山下 りえ子

中村 智子

小森 由夫

田中 幸宏

水野ゼミナール

文学会学生会部会

文学会学生会部会

文学会学生会部会

文学会学生会部会

文学会学生会部会

文学会学生会部会

文学会学生会部会

文学会学生会部会

文学会学生会部会

文学会学生会部会

ウルグアイ・ラウンドと日米関係

第二言語習得と第一言語習得の接点

人類にとってマイノリティとは何か

エイズと教育について思うこと

シェイクスピア劇の喜劇性と悲劇性

AIDSについて考える

標準語と方言／オーストラリアの英語／

〈特別寄稿〉

一年間の卒業研究を振り返って

大学生活四年目

目標をもつということ

〈ゼミ紹介〉

松山ゼミナール

Zavislakゼミナール

「文学会学生会部会活動報告」

バレーボール大会

ゼミ紹介

ボーリング大会

ユウリ海老原講演会

インナーゼミナール大会

第30号記念特集「アンケート」

編集後記

神奈川大学文学会学生会会則

間手原 美香

渡辺 政寿

釜屋 亜子

秋川 能徳

井川 ひとみ

鈴木 紀子

下重 敦子

間手原 美香

佐藤 隆幸

野本 恵司

金子 高浩

松林 敬子

中村 忠孝

渡邊 晃成

岩間 弘枝

江藤 美子

佐藤 隆幸

野本 恵司

野本 恵司

野本 恵司

野本 恵司

野本 恵司

野本 恵司

「世代」第三十二号（一九九四年三月発行）

〈巻頭言〉

人文学会学生部会について

〔懸賞論文受賞者発表〕

〈論文部門〉

アジアに拡がる原発と核兵器

「包む」と「隠す」ことの文化論

地球環境の危機を救うために

日本文化論の効用と限界

— 日本特殊論の意味するもの —

論文部門の総評

〈エッセイ部門〉

遠い山々、遠い日々

極上の宝物

八号館の屋上から

失われた大陸、失われた人間性

エッセイ部門の総評

〈小説部門〉

時間の贈物

時間の歪

後悔の夜を越えて

小説部門の総評

〈詩部門〉

無題

夕焼け

詩部門の総評

〈川柳、俳句部門〉

川柳、俳句部門の総評

〈イラスト部門〉

人文学会懸賞作品審査員名簿

「人文学会学生部会活動報告」

卓球大会

ゼミ幹合宿

特集企画第一弾 アンケート特集

特集企画第三弾 授業評価について

〈その賛否と方法〉

授業評価の必要性について

キックベース大会

講演会—島田雅彦氏を迎えて—

インナーゼミナール大会

座談会「人文について」

神大周辺のお店情報

〈特別寄稿〉

西安事変と張学良

人文メンバー紹介

編集後記

海江田 幸之助

山中 美和

橋本 侃

復本 一郎

人文学会学生部会

馬川 大介
人文学会学生部会

『世代』第三十三号（一九九五年三月発行）

〈巻頭言〉

人文学会学生部会について

【第二回 懸賞論文受賞者発表】

〈論文部門〉

ユースホステルをめぐる若者の意識の変遷

梅崎 修・浅野 真
関根 周太

体外受精について

受け継がれる帝国意識

論文部門総評

〈エッセイ部門〉

メキシコを発掘する

最も危機的な物の見方

脱バックステージアー

エッセイ部門総評

詩部門総評

短歌・川柳部門総評

〈小説部門〉

代替植物

四九年前からの手紙

小説部門総評

人文学会懸賞作品審査員名簿

【第一回 弁論大会受賞者発表】

人文学会学生部会

弁論大会を終えて
「人文学会学生部会活動報告」
スポーツ大会（卓球大会）
ゼミ幹事合宿

人文学会学生部会

講演会―奥寺康彦氏を迎えて―

スポーツ大会（キックベース大会）

弁論大会

インナーゼミナール大会

「人文特別企画」

第一弾 座談会

「人文学会学生部会の新しい時代にむけて」

人文学会学生部会

第二弾 人文委員のび・と・り・ご・と

講義編

ゼミ編

お店編

趣味編

人文学会学生部会メンバー紹介

編集後記

『世代』第三十三号（一九九六年三月発行）

〈巻頭言〉

人文学会学生部会について

【第二回 懸賞論文大会受賞者発表】

人文学会学生部会

〈論文部門〉

フランス植民地政策とヴェトナム

民族解放運動の関連性

論文部門総評

〈エッセイ部門〉

「貧困の文化」と相対主義

自動車教習

出会い

野音の町

エッセイ部門総評

〈詩部門〉

「蒼月」——そうげつ。あるいは、あおいつき。——

《シーン3》の逃亡

詩部門総評

〈川柳・俳句・短歌部門〉

トリコロール

思い出

川柳・俳句・短歌部門総評

〈小説部門〉

人間・合格

部品

小説部門総評

人文学会懸賞作品審査員名簿

「第二回 弁論大会受賞者発表」

人文学会学生会

弁論大会参加寄稿

「人文学会学生会活動報告」

人文学会学生会

ゼミ幹事懇親会

スポーツ大会（ボウリング大会）

弁論大会

インナーゼミナール大会

講演会—ダニエル・カール氏を迎えて—

「人文特別企画」

人文学会学生会

「ボワット イズ ゆにづあーすいてい」

・ アンケートによる大学生生活意識調査

・ 神大生にもの申す

・ 各国の大学生

卒業研究・ゼミナール紹介

授業紹介

趣味編

人文学会学生会メンバー紹介

編集後記

『世代』第三十四号（一九九七年三月発行）

〈巻頭言〉

人文学会学生会について

人文学会学生会

「第四回 懸賞論文大会受賞者発表」

〈論文部門〉

出稼ぎ日系ブラジル人と日本

——共生をめざして、大泉レポート——

「無垢の時代」におけるニューピープルの役割

論文部門総評

〈小説部門〉

鏡裏妖姿

喪失

ないものはない

小説部門総評

〈エッセイ部門〉

別離

『ひまわり』

エッセイ部門総評

〈詩部門〉

屋上

真昼どき

詩部門総評

〈川柳・俳句・短歌部門〉

「恋歌96」

——あの日あなたと見たあの月の裏側——

還る日まで

川柳・俳句・短歌部門総評

人文学会懸賞作品審査員名簿

「第二回 弁論大会受賞者発表」

弁論大会参加寄稿

「人文学会学生部会活動報告」

ゼミ幹事懇親会

スポーツ大会（ボウリング大会）

弁論大会

インナーゼミナール大会

講演会—佐藤和弘氏・河上和雄氏を迎えて—

「人文特別企画」

「海外旅行に対する意識調査」

・アンケートによる神大生の海外に対する意識調査

・海外旅行体験談

・外国人から見た日本人旅行者

・旅行のノウハウ

・総評

趣味編

特別編

人文学会学生部会メンバー紹介

人文学会学生部会の活動をみて

編集後記

人文学会学生部会

人文学会学生部会

人文学会学生部会

「世代」第三十五号（一九九八年三月発行）

中島 瑞 恵
斉 藤 香代子
復木 一郎・速川美竹

青 木 奈緒子
西 村 亜 紀
嵯 韻・河上 婦亭

高 木 智 美
中 嶋 佳代子
上 條 準・中 偉 幸

澤 田 寛 之
中 島 瑞 恵
丹 偉 佐 武

中 村 靖 子
若 尾 彩 子
小林 一美・湯 豊

〈巻頭言〉

人文学会学生部会について

『第五回 懸賞論文大会受賞者発表』

〈論文部門〉

現代日本の貧困生活

高齢化社会における公的介護保障制度について

日本的雇用慣行の経済学

論文部門総評

〈小説部門〉

3 T

i t a m i

小説部門総評

〈エッセイ部門〉

かくこと

母からの贈り物

つれづれなるままにく東南アジア日本人

旅行者の性とスタイルく

エッセイ部門総評

〈川柳・俳句・短歌部門〉

恋

夜の台所

「人を悼む」

川柳・俳句・短歌部門総評

人文学会学生部会

塚田 努

渡辺 寛美

飯野 容明

算敏生・沢田ゆかり

間宮 俊賢

田中 健友

浅山佳郎・日高昭二

小林 千晴

山本 泰司

里村 和歌子

入江直子・西澤晃彦

三浦 郁子

青木 奈緒子

梶原 聡子

復本一郎・速川美竹

〈詩部門〉

マリコ

緑柱石

ソナタになれなかつたふたつのソナタ

詩部門総評

懸賞論文大会審査員名簿

『人文学会学生部会活動報告』

ゼミ幹事懇親会

講演会―神奈川新聞社文化部副部長

片山 蕙氏を迎えて―

懸賞論文大会・表彰式

『人文特別企画』

亜細亜回帰

―アジア人として、国際人として―

卒業研究・ゼミナール紹介

『人文学会学生部会メンバー紹介』

編集後記

『世代』第三十六号（一九九九年三月発行）

〈巻頭言〉

人文学会学生部会について

『第八回 懸賞論文大会受賞者発表』

〈論文部門〉

里村 和歌子

斉藤 香代子

中嶋 佳代子

鳥越輝昭・中本信幸

人文学会学生部会

齋藤 裕樹

人文学会学生部会

人文学会学生部会

走り屋のエスノグラフィー

『彼らの目は神を見ていた』―「語り」

による黒人女性の自己実現

論文部門総評

〈小説部門〉

小さな石

灘見町ダイヤモンド商店街の奇跡

小説部門総評

〈エッセイ部門〉

明治の人(明治の記憶)

エッセイ部門総評

〈短歌・俳句部門〉

人を想う

ひと夜

短歌・俳句部門総評

〈詩部門〉

超音速で季語を忘れる

洪水のあと

階段

詩部門総評

〈映像部門〉

LOOP

映像部門総評

石原進吾

桐田佳織

松本安生・中村浩平

石田耕一

間宮俊賢

早稲二・山口ヨシ

平田 收

鈴木修一・鈴木陽一

梶原聡子

三浦郁子

復本一郎

利田一平

鈴木孝弘

佐々木恵子

小馬徹・岩崎豊太郎

星合 徹

保崎則雄

応募数・審査員一覧

「人文学会学生部会活動報告」

ゼミ幹事懇親会

「学生部会・presents 98」

人文学会後援・保崎ゼミナール主催

サマースクール

「人文特別企画」

学生部会の部室へようこそ！

The Great Local News

赤い靴の女の子とその母親の話

中国語科学科祭取材と言うより餃子体験記

神ちゃんよ、フリマであいそをフリマケ!!

フリーマーケットを終えて

卒業研究・ゼミナール紹介

「人文学会学生部会メンバー紹介」

編集後記

人文学会学生部会

人文学会学生部会

飯島 由久

人文学会学生部会

「世代」第三十七号(二〇〇〇年三月発行)

〈巻頭言〉

人文学会学生部会について

「第七回 懸賞論文大会受賞者発表」

〈論文部門〉

カラー・パープル

人文学会学生部会

—「創造」をつかんだ女性たちの手—
 Be Loved—歪められた愛—
 The Wings of the Dove
 「スカートの輪」の中で描く人間像
 論文部門総評

〈小説部門〉

冬の殻 W e r g e b o r e n

werden will—

緑眼の女

小説部門総評

〈エッセイ部門〉

北京の裏通り—胡同の風景—

内定と私

エッセイ部門総評

〈短歌・俳句部門〉

エックス線

短歌・俳句部門総評

〈詩部門〉

冷蔵庫番長

マイ ドラマ

光

詩部門総評

〈映像部門〉

伊藤 友紀
 梶原 美加子
 野元 亜希
 奥田宏子・塚田眞幸
 中村 文
 若松 千絵
 岩根園和・高野繁
 山口 啓子
 安達 博一
 寺沢正晴・堤 正真
 三浦 郁子
 復本 一郎
 日下部 秀和
 下地 智子
 大野 友美
 橋本 侃

キノウミタユメ

君なき世界

Sweet Dreams

映像部門総評

懸賞論文大会審査員名簿

「人文学会学生会部会活動報告」

スポーツ大会（ボウリング大会）

「人文特別企画」

神大のステータスシンボルとしての

「神大フェスタ」へ

卒業研究・ゼミナール紹介

「人文学会学生会部会メンバー紹介」

編集後記

『世代』第三十八号（二〇〇一年三月発行）

〈巻頭言〉

人文学会学生会部会について

「第八回 懸賞論文大会受賞者発表」

〈論文部門〉

ブラジルとサッカーについて

『ジョイ・ラック・クラブ』

「沈黙」が語る真実のすべて

論文部門総評

清水 玲
 井関 隆雄
 遠藤 京子
 中本 信幸
 人文学会学生会部会
 人文学会学生会部会
 人文学会学生会部会
 人文学会学生会部会
 渡邊 祐介
 武田 優子
 永田 加恵
 伊坂青司・西野清治

〈小説部門〉

祖母からの手紙^{そばからてがみ}

小説部門総評

〈エッセイ部門〉

メキシコシティーで感じた風

ヒッチハイク

エッセイ部門総評

〈短歌・俳句部門〉

赤毛のアン

短歌・俳句部門総評

〈詩部門〉

「時間」「まぼろしの空」「日々」

「日の丸」「独語」「自然」「これから」「荒野の人」

「これから」「秋は始まっていた」「放課後」

ひとひとと。

詩部門総評

映像部門

〈映像部門〉

Usual ゆーじゅある

夕暮れルージュ

映像部門総評

懸賞論文大会審査員名簿

「人文学会学生部会活動報告」

石渡 可南子

日高昭二・山口ヨシ子

安武 克枝

栗原 雅史

西澤晃彦・大西勝也

三浦 郁子

復本 一郎

大野 友美

栗原 雅史

守屋 佑里子

鳥越輝昭・浅山佳郎

清田 修浩

三宮 俊之

三星 宗雄

人文学会学生部会

メディアの在り方を考える

懸賞論文大会感想

スポーツ大会（卓球大会）

懸賞論文大会映像部門上映会の初開催！

「ゼミナール紹介」

中本信幸ゼミナール

松本武祝ゼミナール

大澤定順ゼミナール

池上和夫ゼミナール

伊坂書司ゼミナール

「人文学会学生部会メンバー紹介」

人文学会学生部会メンバー紹介

〈巻末言〉

『世代』第三十九号（二〇〇二年三月発行）

〈巻頭言〉

人文学会学生部会について

「第九回 懸賞論文大会受賞者発表」

〈論文部門〉

現代家族の見えない課題

「家族のディスコミュニケーションについて考える」

学年の階配置と学校生活の「隠れた次元」

小澤 昌之
小馬基礎ゼミ一同

高橋 みゆき

神足 大輔

飯島 香津江

若林 舞

晴山 大輔

人文学会学生部会

鈴木 永尚

奴隷の母親の挫折

—『ある女奴隷の人生の出来事』のメッセージ—

論文部門総評

田村 裕香里
永野 善・松本安生

〈小説部門〉

境

月標

過去からの手紙

小説部門総評

守屋 佑里子
北見 真弓
大下 麻里衣
奥田 宏子

〈エッセイ部門〉

本当の旅とは

眠れる森の美女症候群

カンボジアで考えた

ホームステイ

エッセイ部門総評

南 大輔
町田 由紀子
丹羽 聡子
佐藤 正子
鈴木 修一

〈俳句・短歌部門〉

俳句・短歌部門総評

復本 一郎

〈詩部門〉

「息づく小説」「雪が積もる」「カーニバル」「今」「夜の終わり」

「夜の海峡」「機械の国」「逃亡」

「揺り椅子」「質問」

「H2」「おいぼれ」「警告」「白壁の園」

「君が逝くとき」

村上 健太郎
栗原 雅史
北見 真弓

「望み」「待つという事」「世界」「場所」

「指針」

詩部門総評

大野 友美
橋本侃・岩崎豊太郎

〈映像部門〉

神奈川大学 がんばれ

映像制作サークル CLAPPER

CM『思いきり 笑って』

映像部門総評

萩原 統
井関 隆雄
和氣 洋美

〈Webデザイン部門〉

Webデザイン部門総評

懸賞論文大会審査員名簿

「人文学会学生会部会メンバー紹介」

「人文学会学生会部会メンバー紹介」

人文学会学生会部会の会則

畑田信・人文学会学生会
人文学会学生会部会

〈巻末言〉

『世代』第四十号（二〇〇三年三月発行）

〈巻頭言〉

人文学会学生会部会について

「第十回 懸賞論文大会受賞者発表」

〈論文部〉

出産願望、不妊治療

そしてその先にあるものは…

人文学会学生会部会
石橋佳奈枝・袴田聖子

前坂 春都

アリス・ウォーカーがゾラ・ニール・

ハーストンから受け継いだもの

ココポに散った木村茂夫の戦歴

ボリビアにおけるコカとコカインの現状

ゲーマーの非言語的コミュニケーション

ゲームセンター調査とインタビュ

からの考察

論文部門総評

〈小説部門〉

小説部門総評

〈エッセイ部門〉

「バナマ」再訪して思ったこと

エッセイ部門総評

〈俳句・短歌部門〉

俳句・短歌部門総評

〈詩部門〉

「無題」「太陽遅参」「路地裏の渡り鳥」

「とある空間」「マリーゴールド」

「虹を見た」「天空の美女」「海風のふく夏の

公園」「ますみちゃんの歌」「黄昏の街」

三分の二

「オスナー」「いまといういま」「ふるか

わ」「きんもくせい」「ショウカッ

詩部門総評

「人文学会学生会活動報告」

第10回懸賞論文大会

人文学会学生会説明会

ゼミナール間交流スポーツ大会と懇親会

講演会―丹波哲郎氏を迎えて―

「明るく素直にあたたかく」

「人文学会学生会特別企画」

神大生実態調査

「人文学会学生会メンバー紹介」

人文学会学生会メンバー紹介

人文学会学生会会則

〈巻末言〉

佐々木 優子

小馬徹・浅山佳郎

人文学会学生会

人文学会学生会

人文学会学生会

復本 一郎

黒野 純子

寺沢正晴・堤正典

岩根 園和・笠間千浪

山内 悠貴

中村 浩平・八久保石志

藤永 かほり

小林 誠

志水 光子

富所 千恵子

山田 裕

守屋 佑里子